

9月に募集を始めたヨルダン・ツアーは格安航空券の残席不足のため、急遽に手配可能なウィーン(オーストリア)とドナウ川(スロバキア)に変更して、以下の要領にて再募集いたします。この新企画にふるって御参加いただければ幸いです。

第 11 回途上国の環境問題を見て考える全国学生ツアー(平成 21 年度(再)募集)の御案内



ドナウ川(スロバキア/オーストリア)視察ツアー 案内



主催: 土木学会(担当: 環境工学委員会・海外環境教育に関する小委員会)

研修日時: 2010 年 3 月 3~8 日(6 日間)

募集期限: 2010 年 1 月 13(水)

対象: 全国の大学生(高専を含む)、大学院生、教職員、研究所員、他

定員: 15 名程度(原則申し込み先着順)

集合: 3 月 3 日(10:00)成田空港、解散: 3 月 7 日(12:00)ウィーン国際空港

費用: 航空券(オーストリア航空、成田⇄ウィーン 総額 12.3 万円)、旅行障害保険(4 千円)、現地視察バス(2 万円)、宿泊(マリオット・ウィーン・メッセ****、シングル 9,700 円/室、ツイン 10,600 円/室)、<航空券・保険の手配: HIS>

のい

目的と実施概要

海外(途上国)の環境問題の現場を視察し、現地の大学の研究者や学生および国際協力に係る国連・政府機関と企業の行政官や技術者との学術研究交流や意見交換および国際交流を行うことを主目的としています。

今回は国連大学欧州本部とウィーン工科大学の協力によって東欧のドナウ川とウィーンの都市環境問題を視察する体験型の学生ツアーです。スロバキアとハンガリーの国境に 1992 年に建設されガブシコバダム(世界で始めてハーグ国際裁判所で争われた大型ダ開発 v.s.湿地帯生態系保全の国際水紛争)の現場をバスで訪ね、次に多自然型河川環境保全・復元プロジェクト(デナウ・フロイダム)とウィーン市の都市環境衛生整備施設(上下水道とゴミ処理)の視察し、最後にウィーン工科大学環境工学科にて国際交流セミナーを実施します。

学部学生・院生・教員、等を主対象とし、海外未体験者もチャレンジ精神があれば OK ですが、現地の研究者や技術者と英語で交流しますので、事前に英語での簡単なコミュニケーションの準備<簡単な自己紹介レベル>が必要です。教員および院生の方で、ウィーン工科大学セミナーにて英語でのプレゼンが出来る方は歓迎いたします。

担当: 村上雅博、環境工学委員会・海外環境教育小委員会(高知工科大学・環境理工学群・教授)

協力: 国連大学欧州本部(Dr. Libor Jansky)、ウィーン工科大学(Prof. Helmut Kroiss、Dr. Hermut Fleckseder)

日程表

3 月 3 日(水) 成田空港発 12:05 (OS-52) 16:00 ウィーン国際空港着、ウィーン市内泊

3 月 4 日(木) ウィーン⇒プラチスラバ⇒ガブシコバ(ダム・水力発電所・閘門およびドナウ川内陸湿地帯の水環境と生態系保全管理プロジェクト視察)、⇒ウィーン、同市内泊

3 月 5 日(金) ウィーン都市環境インフラ見学: ウィーン市(Moosbrunn)水道局、南部中央下水処理場、ゴミ(溶融)焼却場(MVA Pfaffenau)、ドナウ川本流デナウ・フロイダム(舟運ドック・発電・多自然型魚道)、ウィーン市内泊

3 月 6 日(土) ウィーン工科大学・環境工学科(TU-Vienna)国際交流セミナー、ドナウ川・カーレンベルグ(ウィーンの森)見学、グリーンツリング(ホイリゲ: 夕食)、ウィーン市内泊

3 月 7 日(日) ウィーン市内(ホーフブルグ宮殿等)見学、移動: ウィーン国際空港発 14:10 (OS-51)

3 月 8 日(月) ⇒ 09:30 成田空港着

参加条件

- 1) 全国の大学生、大学院生、教職員および土木学会会員。
- 2) パスポートの有効期限が半年以上残っていること。
- 3) 海外旅行に参加するにあたって心身ともに健康な状態にあること。
- 4) 最低限度本ツアーが指定する海外旅行障害保険に入ること(3 月 3~8 日の 6 日間、その前後は自己責任対応)。
- 5) 個人荷物は総量 20Kg 以内でケースの最大サイズは 40cmx60cmx20cm 以内 <国際線機内荷物持込可能範囲>
- 6) 事前の学習と自己紹介の英語版/パワーポイントの作成<参加予定者には研修ツアーの関連資料を Internet 又は郵便で送りますが、3 月末までに数頁程度の英語版報告書作成が義務づけられます。<基本的に現地ツアー資料および現地説明および国際セミナーと学生交流会は英語で行われます>

ツアー申し込み要領

申し込み最終期日: 2010 年 1 月 13 日(水)

メール<murakami.masahiro@kochi-tech.ac.jp>にて、1) 氏名(漢字+ローマ字)、2) 所属(大学・学部・学科名、学年)、3) 生年月日、4) パスポート番号<取得予定日も可>、4) 研修の興味および御希望についてのメモ(数行以内)をお知らせ下さい。ただし、定員は総員 15 名程度とし、受付は原則として申し込み先着順で、学生会員を優先とさせていただきます。1 月 15 日に参加人数を確定し各位にメールで御案内します。

お問い合わせ先: 村上雅博(土木学会・環境工学委員会・海外環境教育小委員会委員長)

〒782-850 高知県香美市土佐山田町宮の口 185 高知工科大学 環境理工学群 Tel:0887-57-2418, Fax:0887-57-2520

E-mail: murakami.masahiro@kochi-tech.ac.jp

申し込みフォーム：<メールにコピーして記載して下さい>

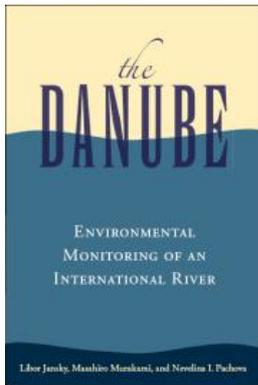
- 1) 氏名（漢字＋（ローマ字））：
- 2) 生年月日（西暦）：
- 3) 所属と学年（大学名・学科名および職場名）：
- 4) 連絡先住所（電話と FAX およびメールアドレスを必ず入れて下さい）：
- 5) パスポート：番号、取得場所と取得年月日および有効期限年月日 <取得予定日でも可>



オーストリア・スロバキア・ハンガリア



ホテル マリオット ウィーン メッセ



ドナウ川（国連大学）



ドナウ川・ガブシコバ・ダム（スロバキア）



グレイフェンシュタイン・ダム



ウィーン工科大学